

# 豊潤の里 だより



## 「赤土のふるさと」を子や孫へ (自治協総会後のトークショー)



5月12日開催の第7回木谷自治協議会総会後のイベントとして、木谷出身の俳人・書家 谷村秀格さんと竹原市出身で広島テレビ気象予報士 塚原美緒さんをお招きしてトークショーを開きました。それぞれの専門分野の話もあり、木谷地域の現在の恵まれた自然環境は「未来の子や孫からの預かりもの」であるとの発言もありました。



(今回のトークショー開催の趣旨)

昨年7月の西日本豪雨で、西日本を中心に大きな被害を受けました。その中でも広島県内の被害は甚大で、私たちの「ふるさと」である安芸津町もことのほかひどい状態で、まだまだ復旧復興ができていない所が多く残っています。

また未来に目をやれば、一昨年前から赤崎地域に計画が持ち上がっている「民間企業による産業

廃棄物最終処分場建設問題」も、私たちの「ふるさと」をないがしろにする喫緊の地域課題だと言えます。

安芸津町のし尿を処理している「安芸津クリーンセンター(公営)」は後2年を目途に閉鎖されます。また「竹原安芸津最終処分場(公営)」も許容量の約70%まで埋め立てが行われており、同じようにそう遠くない年月で閉鎖されると聞いております。木谷は約30年間以上ゴミやし尿に関わる「社会的責任」を果たしてきました。

赤崎に現存するそういった「迷惑施設」が近い将来なくなる目途が立っているのに加え、東広島市の高垣市長は「第5次東広島総合計画」の中では、市を9から10のブロックに分け、それぞれの地域性をより強く反映できるような土地利用の将来像を示すために、地域ごとにブロック計画を策定するそうです。簡単に言えば、私たち安芸津の町、木谷の「将来」の土地利用計画について、私たちの思いが大きく反映されということです。これからの木谷の「赤土のふるさと」は、様々な可能性が開けています。

こういった状況の中、木谷地域の多くの皆様と一緒に「ふるさと」について今一度思いを巡らすことができればと思います。テーマを「赤土のふるさとを子や孫へ」としました。塚原様からは、気象と防災、広くは自然と人間との営みについて貴重なお話をお聞きすることができ、谷村様からは、Uターンされて感じられる「ふるさと」についての思いを鋭い感性を交えながらお話頂きました。

5月17日、(株)栗本ホールディングは地権者を訪問したそうです。「赤土のふるさと」は未来の木谷っ子からの預かりもの」です。未来の子どもたちに向けより良い状態で受け渡していきましょう。

# 5/12 第7回木谷自治協議会総会



5月12日、地域から100余名の参加と高垣市長ほか7名の来賓の出席のもと、第7回木谷自治協議会総会が、木谷小学校屋内運動場で開催されました。来賓の高垣市長と宮川市議会議員から祝辞をいただいた後、平成30年度の活動や決算、令和元年度の活動計画や予算案が報告・審議され、いずれも承認されました。

## 【来賓紹介】

- |        |        |         |        |              |         |        |
|--------|--------|---------|--------|--------------|---------|--------|
| ・東広島市長 | 高垣廣徳 様 | ・前市議会議員 | 中平好昭 様 | ・東広島市社会福祉協議会 | 安芸津支所長  | 原田敦子 様 |
| ・市議会議員 | 宮川誠子 様 | ・東広島市   |        | ・木谷小学校長      | 長沼正夫 様  |        |
| ・市議会議員 | 岩崎和仁 様 | 安芸津支所長  | 石丸光江 様 | ・木谷保育所長      | 林下みどり 様 |        |



(高垣廣徳 市長) 昨年7月の豪雨災害に際し、木谷地域の皆様には救援活動や市への被災報告でご協力いただいたことに感謝しております。このような大災害では市の常備態勢では対応が困難で、発災直後の救助活動では住民自治協議会の協力が重要であると再認識しました。祭りなどの文化遺産を後世に残す支援、大学生との交流事業、フェイスブックページや広報紙による情報発信など、木谷自治協は様々な先進的な取り組みで「人の和を大切に 次世代へとつながるまち 木谷」を目指しておられます。もちろん産業廃棄物最終処分場という課題もあります。市としても皆様としっかり連携を取りながら方向性を定めていく必要があると考えています。



(折河美代次 会長) 木谷地区の最大の課題は民間企業による産業廃棄物最終処分場の建設問題で、木谷自治協議会としては全面的に反対の立場で活動しております。私たちに現在の素晴らしい木谷の自然環境を次の世代に引き継いでいく責任があります。今後も建設反対の署名活動などにご協力をお願いいたします。住んでよかったと思ってもらえる木谷を目指していきますので、よろしくお願いいたします。



(吉田清志 新会長) 前々会長には木谷自治協議会の発足にあたり、様々な団体を組織に組み入れ、若い人たちとも一緒に活動できる基礎を作っていただきました。前会長には産業廃棄物最終処分場建設反対運動の先頭に立って活動していただきました。今年のカーブのキャッチフレーズは「水金地火木土天カーブ」ですが、ペナントレース開始当時は「どうしたカーブ」といわれました。私も「どうした木谷」と言われないように頑張っていく所存です。



## 部会活動紹介

### 次世代部会



4/6 春休み、シロウオとあそぼう  
春になると産卵に適した場所を探して川を遡上するシロウオ。子供たちはその様子を興味深く観察していました。  
△木谷はっけん野あそび会▽

### 体育振興部会

4/27 初心者も大歓迎！ グラウンドゴルフ大会  
高齢者も参加し易いこの競技、運がよければ上位入賞も。地域外の人も含め20名が参加しました。



### 福祉生活部会



5/9 小学校の環境整備でプランターの土を入れ替え  
新学期を迎えて1か月余り。児童が5月末に植える草花が育ちやすいよう、プランターの土を入れ替えました。教職員と10名の蛟龍役員が参加しました。  
＜木谷地区社協 蛟龍＞

### 環境衛生部会



5/12 郷川美化活動（アドプトNETひろしま）  
暖かい日が続き日ごとに伸びる郷川の護岸の草。本年度初の美化活動に17名の委員が参加して草刈りなどの活動をしました。  
＜木谷地区公衆衛生推進委員会＞

### 教育文化部会



5/7 読書開きで影絵劇「善松漂流記」を上演  
木谷小学校で読み聞かせなどの読書支援を行っている「ほたるの会」が、読書開きで影絵劇「善松漂流記」を上演しました。江戸時代後期、大時化で廻船が遭難した乗組員の善松がハワイを経由して帰国する数奇な物語を子供たちは熱心に視聴していました。  
＜読書ボランティア「ほたる」の会＞

# 木谷の春の祭り



元号が令和に改まって初の春祭り。5月3日は赤崎・三種神社(通称「権現さん」)㊦、5月5日は郷・八坂神社(通称「荒神さん」)㊦の例祭が行われ神楽が奉納されました。神楽はいずれも三原市大和町の萩原(はいばら)神楽団により奉納されましたが能舞は別々の演目でした。

# 木谷の春のスポーツ



春はスポーツにも適した季節。木谷小学校の運動場で2つの催しが開かれました。

4月28日、第40回「郷地区大運動会」では、幼児から高齢者までの幅広い年齢層が3チームに分かれて楽しく競技しました㊦。5月5日の赤崎地区ソフトボール大会は、4チームが参加して4試合で熱戦をくりひろげ、本江チームが優勝しました㊦。

## < 2019年7月までの各部会の主な活動予定 >

防災安全部会	6月 2日(日)	土のう作り
体育振興部会	6月 2日(日)	市民スポーツ大会(陸上の部) 東広島陸上競技場
環境衛生部会	6月 9日(日)	きれいなまちづくりキャンペーン
	7月 14日(日)	赤崎海岸清掃活動
福祉生活部会	6月 13日(木)	木谷保育所園児との交流会(カレークッキング)
	6月 26日(水)	木谷小学校児童との交流会(ジャガイモを使ったおやつ作り)

木谷の人口(住民基本台帳)	世帯数	人口(男女計)	男	女
平成31年4月末現在	698	1585	769	816
平成30年4月末との比較	±0	-41	-18	-23

編集：木谷自治協議会事務局 広報担当